



## いろんな「当たり前」を尊重し合うために

校長 富士 健一

### 「おもしろそう！」

母と子が歩いている向かい側から目の見えない人がやってきました。白いつえを使って周りに邪魔な物がないかを確認しながら慎重に歩いています。その動きに興味を持った子供が目を輝かせ、白いつえを指さして大声で言った言葉。お母さんは、すぐさま「目の見えない人に向かって、そんなこと言っちゃはいけません。」と、わが子をたしなめました。その二人の横を目の見えない人は、にっこり笑って通り過ぎていきました…。皆さんは、このお話を読んでどう思いましたか。

本校では先月、ヨシタケシンスケさん作の絵本「みえるとか みえないとか：アリス館」(現代アート研究者、伊藤亜紗さん著「目の見えない人は世界をどう見ているのか：光文社新書」をもとに、人気絵本作家ヨシタケさんが伊藤さんに相談しながら製作した絵本)を教材にして全教員で考えた2学年合同道徳の授業を、低・中・高学年でそれぞれ2時間ずつ行いました。この絵本は、視覚障害を切り口に、主人公の宇宙飛行士が数々の星で出会った様々な身体的特徴を持った宇宙人との言葉のやりとりや行動観察を通して感じた違和感や共感、想像や気づきを絵と文で描いたもので、ものの見方と「違いと当たり前」の捉え方について、深く考えさせられる数多くの言葉が登場します。

「みえかたがちがうだけなのに みんなすごく きをつかってくれて、ヘンなきもちだった。」「じぶんと おなじだとおもうと、やっぱり なんていうか あんしんする。」「いままで いろんなほしに いろんなあたりまえが あったなあ…」「うまれつき ぜんぶの目がみえないっていう ひともいた。そのひとの せかいの かんじかたは、ほくと すいぶん ちがっていた。」「みえないから できないことは たくさんあるけど、みえないからこそ できることも たくさんある」「みえるひとと みえないひととでは、せかいの かんじかたが ぜんぜんちがう」「からだの とくちょうや みためは のりもののようなものだ。その のりものが とくいなことは かならず あるけれど、のりものの しゅるいを じぶんで えらぶことは できない。」「じぶんと ちがうひとでも、おたがいの くふうや はっけんをおしえあったら、きっと みんな へー！ってなる。」「じぶんと おなじところは かならずあるとおもう。つまり、どんなひとでも、だよー！って いっしょに いえるハズ、ってことだ。」



絵本の最後の方で宇宙飛行士が語る「おなじところを さがしながら ちがうところをおたがいに おもしろがれば いいんだね。それって すごくむずかしいような きもするけれど、じつは かんたんなことかも しれないねえ。」という言葉。ふざけた意味での「おもしろがる」ではなく、自分とは見える世界が違う相手に近づいてみようとする「おもしろがる」こと。それをみんなが日常生活の中で自然に行えば、差別や偏見のないフラットな関係が築かれ、誰もが不自由さを感じることをない社会が実現できるというメッセージが込められているように思います。

ところで、**最初に示したお話**。わが子をたしなめた母親の行為は、社会性を持って生きていける子に育てたいという意味では必要なことでしょう。一方で、「知りたい、やってみたい」からくる「おもしろそう」という純粋な子供の心もまた大切にしていきたいものですし、目の見えない方のにっこり笑顔は、「同じ人間として見える世界の違いをお互いに**おもしろがれば**いいんだよ。」という心の表れなのかもしれません。人と人とが共に暮らす社会において、人それぞれ見た目や性格、考えや行動に違いがあるのが「当たり前」。だから、その違いを真っ向から否定するのではなく、いろんな「当たり前」を尊重し合うためにコミュニケーションすることで、心の距離を近づけることが人権尊重の社会を実現する大きな一歩だと、私は思っています。

**11月27日(月)から12月8日(金)は校内人権週間**です。人権集会では、視覚障がいの方を講師としてお招きする計画もあり、1学期に全学年で実施した吉岡先生による障がい理解の授業と今回の2学年合同道徳の授業と併せて、年間を通して全校的に取り組む人権教育によって、口名田っ子と口名田小教職員の人権感覚が磨かれ、人権意識が高まっていくものと信じています。

＜教職員の声＞ 11月は吉岡 晴美（よしおか はるみ）先生のコーナーです。

【「下手の横好き」もいいものですよ（\*^▽^\*）】

「先生はどうして、ピアノが弾けるんですか？」よく子どもたちから質問を受けます。うーん、何でだろう??・ちょっと、私のピアノ歴史をふりかえってみますね。

- 第1期 ピアノを習い始めたのは、小学4年生の時。家にピアノがなくて、オルガンで練習する毎日。でも、中学2年になった頃には、部活に取って代わられて、やめる。
- 第2期 高校入学後、またピアノをやりたいくなって、レッスン再開。親にピアノも買ってもらい、有頂天になる。高3になり、受験に追い立てられるように、やめる。（ピアノよ、ゴメン・・・）
- 第3期 大学入学後、またまたやりたいくなって、またもやレッスン再開。自分でいろいろなジャンルの曲を弾くかたわら、合唱サークルの伴奏や発表会を楽しむ。しかし、卒業で終わり。
- 第4期 学校に勤めはじめ、4回目のレッスン再開。音楽教育の会というサークルにも入り、歌の伴奏を楽しむ。小浜にお嫁にくることになり、このつながりも終了。
- 第5期 嫁ぎ先にピアノがなかったため、ピアノを購入。子どもが寝静まってから、夜中にヘッドホンをつけて、ポプスを弾くことにはまる。そのうちに、子ども達がピアノに興味を持ち始め、わが家のピアノは満員御礼。私が弾く順番はなかなか回って来ませんでした。
- 第6期 そんな子ども達もみんな小浜を離れ・・・再び、私の弾く順番が回ってきました。← 今、ここ。

やめては、またやる。何回くりかえすの?! というような『私とピアノ』の関係。どうも、私は「下手の横好き」タイプであるみたいです。お世辞にも上手とは言えないけど、でもただ好きでやめられないのです。うまく弾けなくてイライラすることもあるのですが、満足いく弾きぶりできたときはなんともいえず快感です。そして、「次はこれ弾いてみたい!」なんていう、願望も出てきたり・・・この「下手の横好き」も、私の人生を楽しませてくれていると思うと、なかなか捨てたもんじゃありません。

みなさんには、「これだけは、やって飽きないんだよなー。」って事がありますか?それが、人より上手とか下手とかそんなことは関係なく、自分が一生つきあえる何かを持つって、おすすめです。またそれが見つかっていない人。いろいろな事をつまみ食いして、自分にとってのおもしろいこと、見つけてみてくださいね。

「下手の横好き」バンザイ!! \ (^-^)/

＜わたしのこえ＞ ～10月号返信より～

- ・信じる心も大切だけど、信じられる人になるのも大切なことだと、あらためて思いました。 ・自分のことをしんじてもらいたかったら、うそをつかないこと。うそをつかなかたらしんじてもらえる。
- ・「信じられる?」って聞かれても、信じられる時と信じられない時があります。うそをつかない人とうそをつくる人がいるから、全員を信じられるっていうわけではないと思います。
- ・わらうときとおこるときは、やりたいことをやってしまうっていうきもちがありました。 ・おかあさんといっしょにやりたくないことをすると、とてもたのしいしすぐにおわっていきふんになりました。
- ・かんじがたのしかたです。 ・玄米を食べてみたいです。
- ・英語のレポートをアニメーションなどをつけてがんばりました。
- ・アコーディオンを、さらに上手になるようがんばりました。
- ・野球の練習じ合で、キャプテンをがんばりました。
- ・やきゅうをやりたいです。 いっぱいど力して、しょうらいプロやきゅうせんしゅになりたいです。 ・また、みんなとどまりたいです。
- ・やってみたいことはポールダンス。 ほういぐんの時よりのびでほしゅらです。
- ・100m、がんばって屋休みもれんしゅうしました。 本はんほど力します。
- ・陸上練習で世対に、さつしたらあさつを風してくれたので心が温かくなりました。
- ・陸上記録会では、自分よりも上の人がいるけれど、自分の本気で勝ちたいです。
- ・陸上記録会で1位はとれなくても3位以内には入るようがんばりたいです。 リレーもバトンミスをしないうようがんばりたいです。
- ・リレー練習でみんなに指示できたり、自分の考えで人に言われなくてもしっかり動けて良かったです。 ・走り高とび、引っかかってもくじけずがんばろうと思います。 ・西づの先生に足速いねと言われて心が温かくなりました。
- ・陸上練習の時にみんなと練習することができてとてもうれしかったです。
- ・修学旅行ではだれと班がいっしょになっても楽しもうと思います。
- ・PRをがんばりたいなと思います。 楽しい修学旅行にしたいです。
- ・もう少しで修学旅行。 USJや東大寺等をまわるのが楽しみです。 口名田、小浜の魅力をしっかりと伝えていきたいです。
- ・地区の運動会がなくなったのでさんねんでした。
- ・春には学校にいたつばめが今はいないので、巣立っただんだんと思い、心が温かくなりました。



－11月の行事予定－

- ☆10/11～11/10(金) 校内感染症予防強化月間☆
- ☆10/31～11/2(木) 臨時休業(学校閉鎖)
- ☆11/27～12/8(金) 校内人権週間☆
- ☆11/20,22,27,29,30 スポーツ委員企画(業時/昼休み) ☆
- 1日(水) 防火ホ 19-展 (子ども家族館～30日)
- 3日(金・祝) 文化の日
- 6日(月) 学校だより発行、PTA登校指導
- 7日(火) 全校集会(音楽会リハーサル発表)
- 8日(水) 市小中学校連合音楽会(文化会館) 二部合唱「虹」 器楽合奏「RPG」(5,6年)
- 9日(木) 大黒山登山(4年)、SC訪問
- 10日(金) 読み聞かせ(低中学年) ジュニアキッチン(6年:食文化館)
- 11日(土) PTA親子ふれあい学級①9:00～②10:45～
- 13日(月) 自動車工場見学出前講座(5年)
- 14日(火) クロスカントリー大会(予備日:16日)
- 15日(水) 特別支援学級合同学習会(二中) 学校集金日、クラブ
- 17日(金) 県立大学出張キャンパス(4年) 睡眠調査(～30日)
- 19日(日) 口名田地区ふるさとまつり (5,6年演奏出演、5年お米の販売)
- 20日(月)～27日(月) 校内タイピングコンテスト
- 23日(木・祝) 勤労感謝の日、秋季書道展(図書学～26日)
- 24日(金) いきいきチャレンジ(～30日)
- 28日(火) 人権集会(ゲストティーチャー来校)
- 12/1(金) 芸術鑑賞②オーケストラ公演 セントラル愛知交響楽団(5・6年共演)
- 12/1～5(火) 図工美術作品展(若狭図書学センター)
- 12/5(火)～6(水) SASA2023 県学力調査(5年)

↓ 高学年は必ず書いてお家の方に見せ、提出しましょう。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・きりとりせん・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

＜わたしのこえ＞ 11月 ※ころろがあたかくなったこと、がんばったこと、やってみようかなど、ぜひしょうかいしてね。

ねん

なまえ:

---



---



---

## <保護者の声>

～10月号返信より～



◇修学旅行でのPR活動に対し、通りすがりの大阪の方から6年生宛に心温まるメールや励ましのお手紙をいただきました。真っ直ぐで一生懸命な子供たちの姿に大人が感動し、親身な大人の言葉によって子供たちがさらに成長できる素敵なループ。これも、保護者の皆様からの、「信じる力」による献身的なサポートのおかげと感謝します。  
◇保護者の皆様からいただく声、その言葉の重みや言葉の背景にある愛情の深さに感動することが増えてきています。返信欄に書かれた声の枚数が増えただけではなく、一人一人の語る言葉が、私自身の思いや願いに近い証拠ではないかとも思っています。直接お話しする機会は少ないですが、心の距離が近づくことの喜びを大切にしていきたいと思ひます。

### 【 低学年（1～3年） 】

- \*たし算、ひき算、漢字のプリントをがんばっています。100点とった時は喜んでます。
- \*3年生になると、運動の幅も広がり、いろんなことに挑戦でき、楽しいようです。
- \*体育大会ではたくさん活躍できて、素敵な笑顔がたくさん見られました。
- \*どんな困難があっても、たくましく元気に生きること、そこに偶然集まった地域の仲間がともに仲良く学んでいってくれることを望んでいます。
- \*小学校に入ってからの子の成長は素晴らしく、先生方には本当に感謝でいっぱいです。モチベーションの波はありますが、いつも何をやるにも一生懸命で何よりとても楽しんでやっています。保育園の頃から送り出しは必ず「がんばってネ！」ではなく「楽しんできてネ！」と言っています。何事にも楽しんで取り組むことができれば、自然に何事も成し遂げることができると思ひます。これからも今のまま進んでいってくれたらいいなと思ひます。そんな我が子を両親で精一杯応援し、見守っていただけたいなと思ひます。
- \*うっかりが多い我が子。いつも「宿題は？ 明日の準備、終わってる？」と、つい口うるさくなってしまいます。子供を信じて見守ってみます。
- \*毎日、疲れからか、すんなり宿題に取りかかることができない日が続きました。そこで、母（祖母）も一緒に勉強してみることに…。すると三日目には一番嫌がっていた漢字の宿題に一番最初に取りかかる姿が見られました。こちらもうるさく言うことが減り、良かったです。できるだけ続けられるといいです。我が子を信じて…続けてみます。



(※10月に学校参観された保護者の声も含んでいます)

### 【 高学年（4～6年） 】

- \*体育大会の応援練習では、みんなを引っ張っていく側になり、言うことを聞いてくれない大変さ、団結力の重要性、色々な事を学べて、また一つ大きくなったと思ひます。
- \*陸上記録会は、競技に真剣に取り組めますし、違う小学校とも交流できる良い機会だと思ひます。
- \*初めての陸上記録会でとても緊張していましたが、自分なりに精一杯頑張り、大きな声で応援できていて良かったです。



.....きりとりせん.....

<保護者の声> 11月 ※感想やご意見、ご要望など、ぜひお書きの上、ご提出ください。(一部紹介させていただきます。)

年 保護者氏名：

---

---

---

\* 体育大会や自然教室などのイベントを通して、子供たちの成長を感じられたこと、改めて感謝致します。今年の後半生活で、来年、最上級生としてリーダーシップをとれるように学んでほしいと思います。



- \* 9月、10月はいろいろな行事があり、大変そうでした。
- \* 10月も陸上記録会やクロスカントリーの練習もあり、スポーツの秋ですね。悔いのないようにがんばって欲しい！！
- \* 楽しみにしている修学旅行があるので、楽しんできてほしいですし、思い出をたくさん作ってきてほしいです。
- \* コロナだったり熱中症だったり、想定外のことが次々と発生するご時世、各先生方のご苦労、お察し致します。同時に、子供たちや今の時代に求められている学びの場について考慮下さり、深く感謝しております。先生方も、ご家族、ご自分の健康などもございますので、どうかお体ご自愛下さいませ。
- \* このように保護者の声を届ける機会を作っていただき、有難く思います。子供たちの声を聞けることも嬉しいです。
- \* 校長先生の文章に、いつも「自分の見直し」をさせて頂いています。子育てをしていく中で、一方的な説教など意味はなく、子供がその問題に向き合っている瞬間を見逃さず、ともに考え、認め、助言ができれば…と思います。私も心はまだまだ幼いままですが（笑）
- \* 人間関係の難しさを乗り越えて、仲間と信頼関係を築いて急成長したブラスバンド部のお話を読んで、お互いを信じ合うことが大きな力になるんだなあと改めて思いました。仲間を信じる関係性を作るには、本音を語ったりいろいろな意見を受け入れたりコミュニケーションが日々とれていることが大事だと思いました。まずは相手を思いやる心から、少しずつつながっていくのではないかなあと思いました。
- \* 本音でぶつかり合う、信じ合う、あきらめずに継続する…どれもとても難しいですね。私も全然できていないと思いますが、子供が実感し成長できるようにサポートしたいと思います。
- \* 何か一つのことを継続するということは、本当に大事だと思ひ、子育てにおいても重きを置いています。
- \* 子供の背中を押すのも仲間であり、周りの大人たちだと私は思っています。子供たちを信じてあげるのも大人たちが見本になって声をかけることが大切だと思っています。

☛ 「継続する」「見直す」「向き合う」「ともに考え、認める」「背中を押す」「応援する」「見守る」「声をかける」「本音を語る」「受け入れる」「思いやる」「ぶつかり合う」「信じ合う」「つながる」というのは、どれも「信じる力」の証です。「我が子を両親で精一杯応援し、見守っていただけたいな」「子供を信じて見守ってみます」「我が子を信じて続けてみます」という低学年保護者の方の声にも共通していることですが、親・家族として子育てという難しい課題と共に歩み、より良い解決に向っていくために愛情いっぱいサポートし続けることこそが最高の姿勢だと思います。日々の苦労と努力の全ては、子供たちの「幸せな未来」のためにあるのですから。



.....  
☆インフルエンザ感染の急激な広がりについて、ご心配ご負担をおかけしました。学級・学校閉鎖期間中、お子様の健康面・生活面・学習面に寄り添って下さったご家族の皆様に、心から感謝申し上げます。